

旭川工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	電気情報演習 B	
科目基礎情報							
科目番号	0079		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		後期:2		
教科書/教材	演習用プリント						
担当教員	吉本 健一						
到達目標							
1. 4年生前半までに習った知識を活かして、回路系の応用問題を解くことができる。 2. 4年生前半までに習った知識を活かして、電気電子系の総合問題を解くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 (D-3,E-1,E-3)	回路系の応用問題を正しく解ける。		回路系の応用問題を解ける。		回路系の応用問題を解けない。		
評価項目2 (D-3,E-1,E-3)	電気電子系の総合問題を正しく解ける。		電気電子系の総合問題を解ける。		電気電子系の総合問題を解けない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 電気情報工学科の教育目標① 学習・教育到達度目標 本科の教育目標③ JABEE D-3 JABEE E-1 JABEE E-3 JABEE基準 (d) JABEE基準 (e) JABEE基準 (g) JABEE基準 (h)							
教育方法等							
概要	4年生前期までに習った知識を活かして、前半は回路系の応用的な問題を中心に出題し、後半は電気電子系の総合問題を出題するので、これらを4年生前期までに習った知識を活かして解くことで、理解の不確かな部分を補填し、基礎力の充実を図ると共に専門に対する能力を高める。						
授業の進め方・方法	授業では、まず習った知識の復習を兼ねて、演習に関する基本部分の解説を行い、その後演習問題を自ら解くことで、知識を高めるとともに、解法技術を高めていく。						
注意点	・教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目の割合は、D-3(20%)、E-1(50%)、E-3(30%)とする。 ・総時間数45時間（自学自習15時間） ・自学自習時間（15時間）は、日常の授業（30時間）に対する予習復習、レポート課題の解答作成時間、試験のための学習時間を総合したものとする。 ・評価については、合計点数が60点以上で単位修得となる。その場合、各到達目標の到達レベルが標準以上であること、教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目を満たすことが認められる。 ・この科目は、問題を解く力を高めるのが目標であるので、授業中に演習を解くことはもちろんのこと、演習課題も多く出される。これらの演習課題等は評価につながるものであるため、提出期限を守り、必ず提出すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	回路系の応用問題の演習①		回路系の応用問題が解けるようになる。		
		2週	回路系の応用問題の演習②		回路系の応用問題が解けるようになる。		
		3週	回路系の応用問題の演習③		回路系の応用問題が解けるようになる。		
		4週	回路系の応用問題の演習④		回路系の応用問題が解けるようになる。		
		5週	回路系の応用問題の演習⑤		回路系の応用問題が解けるようになる。		
		6週	回路系の応用問題の演習⑥		回路系の応用問題が解けるようになる。		
		7週	回路系の応用問題の演習⑦		回路系の応用問題が解けるようになる。		
		8週	中間試験 次週、中間試験を実施する。		学んだ知識の確認ができる。		
	4thQ	9週	電気電子系の総合問題の演習①		電気電子系の総合問題が解けるようになる。		
		10週	電気電子系の総合問題の演習②		電気電子系の総合問題が解けるようになる。		
		11週	電気電子系の総合問題の演習③		電気電子系の総合問題が解けるようになる。		
		12週	電気電子系の総合問題の演習④		電気電子系の総合問題が解けるようになる。		
		13週	電気電子系の総合問題の演習⑤		電気電子系の総合問題が解けるようになる。		
		14週	電気電子系の総合問題の演習⑥		電気電子系の総合問題が解けるようになる。		
		15週	学年末試験		学んだ知識の確認ができる。		
		16週	答案返却と解説		学んだ知識の再確認と修正ができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他（演習・レポート）	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	15	0	0	0	0	10	25
専門的能力	45	0	0	0	0	30	75
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0